



東かがわ市

議会だより

Report of City Assembly

令和4年1月発行

73号



国道11号大内白鳥バイパス開通式典
松崎～土居区間 (1.4km)



11月臨時会・12月定例会の主な内容

11月臨時会

議案第1号

東かがわ市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第2号

東かがわ市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

第1号、第2号ともに、期末手当について、人事院勧告に準じ、令和3年12月の支給割合を0・1月分引き下げ、令和4年度以降の支給割合0・1月分の引下げは、6月と12月の期末手当が均等になるよう配分するもの

議案第3号

東かがわ市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

の制定について

期末手当について、香川県人事委員会勧告等の趣旨に基づき、令和3年12月の支給割合を0・15月分引き下げ、令和4年度以降の支給割合0・15月分の引下げは、6月と12月の期末手当が均等になるよう配分するもの

議案第4号

令和3年度東かがわ市一般会計補正予算（第5号）について
詳細は4ページへ

12月定例会

認定第1号～6号

決算の認定について
詳細は3ページへ

議案第1号

東かがわ市地方創生応援基金条例の制定について

地域再生法に規定するまち・ひと・しごと創生寄附活用事業に
関し、法人からの寄附金を適正に管理し、事業の経費に充てるため、基金を設置し積立、管理等について定めるもの

議案第2号

東かがわ市産業振興及び企業立地促進に関する条例の一部を改正する条例の制定について

過疎法の改正に伴い関連する制度を整理するとともに、企業立地を促進するため新たに対象施設に商業施設（商品販売、サービスの提供等の商業活動を行うために必要な施設）を追加するもの

議案第3号

東かがわ市工業等の資本投下促進条例を廃止する条例の制定について
東かがわ市産業振興及び企業立地促進に関する条例による補助金に制度統合するため廃止するもの

議案第4号

東かがわ市税条例の一部を改正する条例の制定について

固定資産税の前納報奨金の交付対象を口座振替に限定、また減免について改正するもの

議案第5号

東かがわ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
地方税法及び地方税法施行令の一部改正に伴い、未就学児に係

る国民健康保険税の均等割額の減額措置を導入するため、当該未就学児に係る均等割額について、その5割を軽減する規定を追加するもの

議案第6号

東かがわ市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
令和3年8月、健康保険法施行令等の一部を改正する政令が公布され、産科医療補償制度が見直されたことに伴い、出産育児一時金の支給額を4万4千円から4万8千円に引き上げるもの

議案第7号

東かがわ市引田漁村センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

調理室の新設に伴い、使用料の追加と所要の改正をするもの

議案第8号

東かがわ市農業集落排水処理施設条例及び東かがわ市下水道条例の一部を改正する条例の制定について

地方自治法の改正によりスマートフォンアプリなどを利用した決

済も使用できるようにするもの

議案第9号

東かがわ市交流プラザ条例の一部を改正する条例の制定について

パソコン教室として使用していた部屋を会議室として利用するもので、パソコン教室は引田公民館と大内公民館で開設中である

議案第10号

東かがわ市立幼稚園の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

令和4年3月31日の本町幼稚園の閉園に伴い関係条例の改正するもの

議案第11号

令和3年度東かがわ市一般会計補正予算(第6号)について

詳細は4ページへ

議案第12号

令和3年度東かがわ市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について

特別調整交付金の申請に必要となることからレセプト点検委託料を計上するもの

議案第13号

東かがわ市農業委員会の委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とするものについて

令和4年4月1日付けの任命に向けた推薦者のうち認定農業者が5名となったことにより議会の同意を得るもの

議案第14号～30号

農業委員会の委員の任命について

- 三井 和彦氏、三谷 博計氏
 - 岡本 健氏、池田 正志氏
 - 山下 恭弘氏、井戸 等氏
 - 松岡 由美氏、藤本 輝華氏
 - 間嶋喜美雄氏、橋本 忠士氏
 - 黒川 政明氏、木村 政光氏
 - 田中 稔氏、田村 照栄氏
 - 荒井 悠貴氏、小島 昇氏
 - 笹井 慎也氏
- 任期は令和4年4月1日から3年間

議案第31号

令和3年度東かがわ市一般会計補正予算(第7号)について

子育て世帯への臨時特別給付金の支給額を5万円から10万円とし、全額現金で一括して支給するもの

決算審査 特別委員会

審査日

令和3年10月11日・12日

本委員会は、9月定例会において設置され、一般会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、介護サービス事業特別会計、後期高齢者医療事業特別会計、下水道事業会計の決算の認定6議案が付託された。

各課から提出された主要施策の成果と決算概要、歳入歳出決算書及び監査委員からの決算審査意見書に基づき、事業の執行状況、成果について審査を行った。

審査の主な内容と質疑は次のとおりである。

- 問** ホームページを見やすく分かりやすい内容にすべきでは。
- 答** 今後、見やすいホームページに改修する。

問 新型コロナウイルス感染等で本庁舎を閉鎖せざるを得なくなった場合の対応は。

答 業務を引田庁舎に移して、LAN配線を利用し対応する。

問 地域コミュニティ活性化事業内容に、地域差があると思われるが指導の方法は。

答 地域の活動に応じた指導を行い、事業内容が、イベント重視になった場合には、イベント事業費で対応するように指導する。

問 民間危険ブロック塀等撤去支援の啓発は。

答 今の段階の補助制度を周知し、できるだけ早期に撤去できるように所有者、管理者に求めている。

問 コロナ禍、こども総合支援センター事業での子どもや保護者へのストレスの相談に対する連携は。

答 子育て支援課と保健課が連携を取り相談活動を行ってきた。

以上慎重に審査した結果、認定第1号から認定第6号までの6議案は、いずれも原案のとおり認定すべきものと決定した。

予算審査 特別委員会

審査日 令和3年11月30日

議案第4号 令和3年度東かがわ市一般会計補正予算(第5号) 審査の主な内容と質疑は次のとおりである。

地域創生課

■ 商工会が実施する「わくわくグルメ&観光商品券事業」に対する(事業対象経費の2分の1)の補助として
531万円計上

問 なぜ飲食業と観光業だけを対象にするのか。

答 商工会の調査によるとコロナ禍で飲食業と観光業が特にダメージを受けているため。

福祉課

■ 新型コロナウイルス感染症による子育て世帯への影響に対する支援のための臨時特別給付金事業の扶助費として
1億6,120万円計上
(国庫支出金)

委託料等の事務費として
440万2,000円計上

(国庫支出金)

問 今回5万円を支給するためのシステム改修委託料に300万円を計上しているが、次の支給がクーポンから現金に変更した場合に、このシステムは使用できるのか。

答 現金の場合は使用できる。

以上、慎重に審査した結果、賛成全員で原案通り可決した。

審査日 令和3年12月7日

議案第11号 令和3年度東かがわ市一般会計補正予算(第6号) 審査の主な内容と質疑は次のとおりである。

学校教育課

■ 県が実施する小・中学校におけるPCR検査に対する市負担金として

97万4,000円計上

■ 給食センター厨房機器等更新工事の費用として
5,000万円計上

(債務負担行為)

問 古い機器のステンレスなど、有価材的な機器の処分はどうするのか。

答 執行段階においてメーカーと十分協議した上で更新時期が来たものについてはメーカーで処分を予定している。

子育て支援課

■ ふれんど教室の移転予定先である本町幼稚園トイレ等の改修工事に係る実施設計委託料として
50万円計上

生涯学習課

■ 旧引田社会福祉センターの解体に伴い自主講座の陶芸教室を移転するための改修工事費として
450万円計上

■ 温水プール整備事業に関連して、旧白鳥小学校の校舎等を先行して解体する費用として
2億6,100万円計上

(債務負担行為)

総務課

■ 令和5年4月から施行される地方公務員の定年制度改正に伴い例規の整備について業務委託する費用として
220万円計上
(債務負担行為)

財務課

■ 受給者負担の軽減のため児童手当の現況届を廃止、また高所得者支給廃止によるシステム改修委託料として
308万円計上

問 同じシステムであれば福祉課、財務課と別々にしないで同じ時期に実施すればコスト削減になるのでは。

答 不必要となる作業については業者と調整しながら対応している。

地域創生課

■ ふるさと納税増額に伴う返礼品代や郵送経費などの経費として

1億8,880万円計上

■ 三本松コミュニティセンター多目的ホール改修工事において、長寿命化等のため施工内容変更が生じたため
280万円計上

福祉課

■ 遠隔手話サービスのためタブレット端末購入費として
18万4,000円計上
(国庫支出金)

問 タブレット購入台数は。

答 一台である。

問 利用開始時期は。

答 4月の予定である。

保健課

■ 新型コロナウイルスワクチン3回目の接種に向けた実施体制整備費として
4,231万8,000円計上
(国庫支出金)

問 3回目の接種方法は。

答 まずは、個人接種を開始して、ワクチンの供給状



況や接種状況を勘案して集団接種の体制整備を行っていく。

農林水産課

■ 新規就農者に対する補助金として
150万円計上

問 対象者は何歳

ぐらいの人で、何を栽培しているのか。

答 30代40代の男性2名、アスパラガスとパセリを栽培している。



建設課

■ 市道大町三本松港線、僧洲1号線改良工事での信号機移設等など施工内容の変更が生じたため
3,000万円計上
(県支出金・過疎債)

問 工事の完了はいつか。

答 令和4年度夏迄には竣工する予定である。

以上、慎重に審査した結果、賛成多数で原案通り可決した。

総務常任委員会

○閉会中の委員会

「温浴施設の在り方とベッセルおちの基本計画の方向性」について

調査実施日 令和3年11月24日

基本計画策定業務遂行状況の説明を受けた後、質疑を行った。

問 温浴施設における大規模改修の位置付け、捉え方は。

答 建物の構造躯体が物理的に利用できなくなる状況となった場合には運営継続が不可能と考える。

問 温浴施設を持ち続ける意味、目的をどのように考えるのか。

答 当初、福祉的観点から設置してきたが、集客の度合い、施設の状態から、これ以上の投資はできないと判断している。また、ベッセルおちちは、観光施設として、軸足を移していくことの基本構想を策定している。また、指定管理者制度の手段だけで考えるのではなく、民間の活用も視野に入れて考える必要がある。

問 翼山、白鳥温泉を地元が運営する要望があった場合の考えは。

答 将来的には要望を視野に運営

について最終的な判断をしなければならぬ。

問 ベッセルおちちは行政として運営する方向性は考えず、民間のノウハウでやれるのであれば、軸足を移す方がいいのではないか。

答 今後、運営方法を複数パターンお示しする。

問 民間に委ねる考えがあるのであれば、全国に発信して立地条件を生かす提案をしてもらうようにしてはどうか。

答 応募、募集なり提案を受けられるようにしたい。

問 ベッセルおちのホールをどうするのか。

答 現状の利用を考えると交流プラザで十分に機能を果たしている。今後ホールの在り方について方向性を示したい。

問 今後どう進めるか。

答 再整備基本計画策定業務で、検討をした案をもとに、再度、議論を進めていきたい。



建設経済常任委員会

○閉会中の委員会

林務行政の現状について

調査実施日 令和3年10月28日

森林は木材等を生産するだけでなく、水源涵養の機能や土砂災害を防止するなどの役割がある。そこで、治山ダム事業（与田山）、林道事業、県行造林事業（入野山）の現地調査を行った。

問 治山ダム事業の役目は。

答 渓流にダム（壁）を設置し、堆積した土砂の上に樹木が育つことで、下流域を土砂災害の危険から守り、周辺地域の森林を保全することである。

問 市の8つの山林・保安林における県行造林事業のお金の流れと、収益について伺う。

答 市の負担はなく、県へ国からの補助金が出ている。県と市の収益は基本5対5だが、伐採して搬出した場合でもコストのほうが高くなるため、基本的に価値がなく、収益はない状況である。



農業集落排水処理施設の現状について

調査実施日 令和3年11月5日

農業集落排水処理施設は、平成初期に事業に着手し、現在10施設が稼働しているが、機器能力の低下に加え、突発的な機器トラブルも年々増加していることから、現地調査を行った。

問 事業開始当初から、人口が約半減している処理区もある。施設の統合、計画の見直しを早めに検討してはどうか。

答 市全体で次年度から検討していきたい。



民生文教常任委員会

○閉会中の委員会

GIGAスクール構想の進捗について

調査実施日 令和3年11月12日

小中学校で導入されているタブレット型パソコンを使用した学習内容について現地視察を含む調査を行った。

調査から見えたもの



○タイピングの習得
3年生から指導する。

○プログラミング学習
授業のほか、土曜日授業でも経験できる機会を設けている。

○モバイルルーターの貸し出し
Wi-Fi環境のない家庭に貸し出す。（合計44台）

不登校、長期休業等への対応
○不登校の児童生徒について
家庭に持ち帰り、AIDドリルや課題などの学習につなげている。

○学校が休業になった場合
AIDドリル等の活用で学習の定着に対応できると考えている。全学年が一斉に双方向のオンライン

授業は設備面で難しいが、時間割を工夫したり、1日1回の児童生徒と先生との通信により健康観察や課題の確認に取り組みたい。

安全管理に向けて
○パスワード管理
ランダムに割り当てている。

○いじめ予防にログを確認
どのようなアクセスをしているかチェックし、いじめにつながらないよう取り組んでいる。

新たな取組み
○オンラインを活用
コロナ禍で部活動の対外活動が制限された際、タブレットを用いて三本松高校の教職員からオンラインで指導をうけた。

タブレット端末を使った学年別の取組状況

| | 目標 | 取組み状況 |
|-----|---|---|
| 小学校 | 低学年 ・タブレットの操作ができる（写真撮影、文字入力など） | 生活科等で生き物の写真撮影を行い、観察記録をつけたり、まちたんけんでの写真撮影 |
| | 中学年 ・タブレットの操作ができる（写真撮影、文字入力やインターネット等を利用した情報検索） | ・文字入力ができるようにローマ字入力練習を兼ねてタイピングを習得 ・教科書のQRコード読み込み学習 ・インターネットを使った調べ学習 ・Scratchを使ったプログラミング学習 |
| | 高学年 ・タブレットの操作ができる（写真撮影、文字入力やインターネット等を利用して、情報を取捨選択し、活用発信） | ・調べ学習したことを、PowerPoint等を活用し、まとめと発表 |
| 中学校 | インターネットを利用した調べ学習 ・ワード、エクセル、パワーポイント等を利用してまとめと発表 | 各教科でインターネットを使った調べ学習を行い、ワード、エクセル、パワーポイントを活用し、まとめと発表 |

詳しくは
インターネットで議会中継を録画配信中!!

東かがわ市議会中継

検索

一般質問全項目

堤 弘行
・防災物資拠点施設の整備について

橋本 守
・てぶくろ資料館の新設について

工藤 正和
・歴史的価値を持つ里山の登山道の整備について
・市道新開線の道路改良について

朝川 弘規
・歴史民俗資料館の収蔵資料のデジタルアーカイブへの取組みについて

田中 貞男
・北京市海淀外国語実験学校交流について
・保育の加配の対応について

工藤 潔香
・移住定住につながる東かがわ市の魅力発信について

小松 千樹
・防災減災対策における地域衛星通信ネットワークについて

大田 稔子
・空き家対策について
・若者定住支援について
渡邊 堅次
・RVパーク施設整備について
・国道11号引田地区での右折レーン増設について

久米 潤子
・女性の視点からの防災・復興の取組みについて
・SDGsの取組みについて

山口 大輔
・地域猫活動の支援について
・野良猫による被害を減らすために

・子ども・若者まちづくり事業の実現に向けて
田中 久司
・観光基本計画の今後の方向性について

・市内キャンプ場の整備再編構想について
・新たな一貫校「大内大川小中学校」の今後の課題について
宮脇美智子
・タクシーを利用した移動困難者に対する支援策の実現可能性の検討について

・中国北京市海淀外国語実験学校との交流及びそれに関係する本市の安全保障問題について

・新型コロナウイルス感染症対策、未成年者へのワクチン接種について

東本 政行
・市長の政治姿勢について
・新型コロナウイルス感染症の新たな対応について
・教育問題について

大藪 雅史
・白鳥小学校跡地に建設される温水プールの管理運営について
・義務教育の完全な無償化について

※太字のものを今回紙面に掲載しています。

防災物資拠点施設の整備について

令和4年度中に着手する



堤 弘行

時ライフラインなどが復旧するまでの間、必要な物資を確保することができ、また、支援物資を提供することができると。本市においては、四国化工跡地を購入して、国または他自治体などから救援物資を受け入れ、一時的に保管し避難所へ配送することを目的として、防災物資拠点施設の整備を進めている。その施設整備の概要と規模について伺う。

問 日本列島では、地震・火山噴火・豪雨災害・放射能汚染などのいろいろな災害が各所で発生し、本市においても南海トラフ地震の発生が懸念されている。そして、天災は、忘れたころにやってくるということわざ通り変わりやすい気象状況などの自然条件から災害は発生している。このような災害が発生した場合、行政が行う「公助」、自分の命は自分で守るという「自助」、そして、地域の皆さんが協力し合って皆の命を守る「共助」がありその中でも、行政が行う「公助」には、いろいろな対応の仕方がある。その中の一つに防災倉庫に備蓄品を蓄えておくことがあげられる。防災倉庫は、災害が発生した

答 本施設は、南海トラフ地震等の大規模災害発生時に国や他県などからの支援物資を受け入れ、保管、仕分けをして各避難所へ届けることを主たる目的とした施設である。敷地面積約14,000平方メートルで、そのうち倉庫部分を約1,000平方メートル、残りを屋外スペースとする予定である。

問 この施設の工事の施工時期はいつになるのか。

答 令和4年度中に着手する。

手袋産業の伝承と振興に

力を注いで行くべき

日本手袋工業組合と目的を共有する



橋本 守

問 現在の、香川のでぶくる資料館・アウトレット店は、オープン以来12年が経過している。その間、資料館は15,000人、アウトレット店は70,000人が訪れている。2014年に手袋の資料721点が国の登録有形民俗文化財として登録されている。しかし、20点のみが資料館に展示されているのが現状である。701点の貴重な資料は倉庫に眠ったままである。そこで、すべての資料が展示できるよう新たに資料館を建設し、現在の資料館を改装して、アウトレット店のスペースを拡大すれば、ゆったりと買い物が出てくるようになり、滞在時間も長くなるのではと考える。手袋産業の伝承と振興に、市として力を

注いでいくべきと考えるが、市長の所信を問う。
答 本市が誇るべき手袋産業を継承するに当たり、このような文化財の活用も市は力を注いでいくべきと考えを同じくする。

今後、日本手袋工業組合と目的を共有し、収蔵資料の公開や効果的な活用、アウトレット店の滞在時間の拡張、手袋等の製品の販売促進、手袋産業の魅力発信について、協議していく。



世界に誇る匠の技術

市道新開線の道路改良について

事業再開に向けて検討を行うため

県と協議して行きたい



工藤 正和

問 新開線は合併支援道路として位置づけはされているものの、今なお手つかず状態である。生活道路として利用者が多いのに、いまだに道幅が狭く、緊急車両も入ることができず住民の不安や不満の種になっている。いつまでも凍結している現状で、現段階での進捗のめどを伺う。
答 県に本路線の整備方針を確認したところ、事業再開の検討を行うため市と協議していくとの回答があり、市としても本路線の重要性は十分に認識しており、早期の事業再開に向けて、県に対して強く要望していく。

問 事業再開に向けて、今後どのような行動に移していくのか。
答 今後ともあらゆる機会や手段を駆使しながら要望するとともに違った側面からも要望活動を行う必要があると考えている。歴史的価値を持つ里山の登山道の整備について
問 翼山は、標高125mという手軽に登れる高さも魅力的で、昭和初期に安置されたとされる「三二四国八十八ヶ所」があり、石像を巡ることで四国八十八ヶ所霊場を参拝したご利益があるといわれている。本格的な登山気分も味わうことができ、市民の健康増進、フレイルの予防の一助にもなることから、翼山の登山道整備について伺う。
答 翼山は大部分が民有地と国有林であり、整備するとしても制約がある。里山の保全活動への支援は、地域による活動組織の条件を整えば、各種支援事業の活用も可能と考えている。
問 翼山だけでなく市内の里山保全に対応できる支援事業とは。
答 地域の中で改善内容等をまとめ相談いただいた上で、可能な支援体制を模索していきたい。

歴史民俗資料館の収蔵資料を

デジタルアーカイブに

早い段階で導入したい



朝川 弘規

問 歴史民俗資料館の収蔵資料を多くの人に広く紹介できるようにするひとつの手段としてデジタルアーカイブが考えられる。現物そのものであれば展示などに物理的な制約が伴うが、収蔵資料をデジタルアーカイブとすることで資料のデータにアクセスすることが容易にでき歴史民俗資料館の収蔵資料の価値を多くの人に共有してもらえようになるのではないか。

答 デジタルアーカイブの導入は現在のデジタル社会において有効なものであり、公共性や歴史的・文化的価値が高く将来にわたって保存する価値のある民具や古文書などの歴史民俗資料をデジタル技術を用いて記録、保存し、それをインターネット

を利用して情報検索が可能となれば必要な情報を誰でも、いつでも調べることができ歴史や民俗に関心のある人だけでなく市のPRにもつながると思われるため、できるだけ早い段階で導入していきたい。すべての資料をデータ化するには相当の期間を要するため、まずは天然記念物、伝統産業、引田城跡などテーマごとにまとまったものから順次情報発信ができるよう取り組む。

問 今後の作業の見通しは。

答 歴史民俗資料館友の会など5団体の代表者と収蔵資料の整理や情報発信に向けた取り組みなどの意見交換会を持ち、今後の情報共有や協力依頼を行った。この協力体制を整えば作業がスムーズに進行する。関係団体との協力体制の構築や歴史民俗資料館独自のホームページの立ち上げなどの経費の検討と合わせて観光部局との連携も図る。

北京市海淀外国語実験学校との

交流を今後どうするのか

交流を実施しない



田中 貞男

問 北京市海淀外国語実験学校との交流は有意義な交流が行われてきたという成果が確認され、私もそのように思っている。新型コロナウイルスの感染拡大や中国政府の動きや国際情勢に関する懸念、経済面や軍事面など、対立の構図が拡大している。来年度以降の交流については、連絡は取り合っているのか。連絡を取り合っているのであれば、来年度からの交流実施に対してどのように判断をしているのか。

答 同校との交流は協議を重ねた結果、双方同意の上で今後は交流を実施しないことに決定した。今後の交流先や内容等について、関係機関と連携を図り検討していく。

問 保育の加配の対応について

答 市内の公立と私立の就学前施設の保育・教育について、平等性を保つことは必要である。支援が必要な子どもへの加配について、私立の施設へは市の支援が不足しているように感じる。公立と私立において、加配対応の状況について伺う。平等性を保つには、支援できていないのであれば、市として支援を行うべきではないか。その対応について伺う。

答 公立の場合は国の交付税措置があり、3園で11人の加配職員を配置している。私立には国の加配算定に基づく運営委託金を加算しているが、国の加算額が低いいため、公的支援の拡充が課題である。先進事例も参考に市の補助制度を検討する。平等で充実した教育・保育のための課題解決に努めていく。

移住定住につながる

東かがわ市の魅力発信について

これまで以上に分かりやすく発信する



工藤 潔香

問 東かがわ市は若者、子育て世代に対して多くの支援策があり他の自治体と比較しても手厚い支援を行っている。しかし、PR不足で支援策が活用されていないのが現状である。支援策を今以上に分かりやすく発信することで、移住定住者の増加に繋げていくことは今後の重要な課題だと思われる。そこで、ホームページの更新やハンドブックの刷新により、もっと分かりやすい市の魅力発信を早急に行うべきだと考えるがどうか。

答 ホームページでは各カテゴリーの中で周知内容を紹介しているが、行政側で判断した項目ごとに分けているため一般の閲覧者からは検索しづらく、見る側や知りたい側の目線を意識したものはなっていない。パンフレット類にしても、分野ごとに特化しているものの総合的に分かるものではなく見やすさ、分かりやすさへの配慮が十分とはいえない。現在、新たなホームページの構築を行っており、これまで以上に分かりやすく伝えられるような情報発信を行っていく。パンフレット類についても、分かりやすく市のPRができるものに更新を図っていく。

問 結婚、子育てなど時代に合った支援策をわかりやすくまとめた記載するなど、若者、子育て世代に特化した新しい取り組みをしてはどうか。

答 新しいホームページでは、ライフステージ別に情報をまとめたり、特設サイトとして移住定住サイトを作成し、新年度当初の公開を目指している。パンフレット類についても、来年度にホームページと同様な意図をもって更新を図っていく。

地域衛星通信ネットワークの推進を

災害時通信体制の確保に万全を期す



小松 千樹

問 東日本大震災や北海道胆振（いぶり）東部地震が発生した折、地上系の通信網が機能しない中で、地域衛星通信ネットワークは稼働を続け、国及び県が被災市町村の被害情報について、収集し、初動対応の円滑化に大いに寄与したとのこと。香川県では平成6年度から、県庁と県の出先機関や全市町、消防本部などの防災関係機関に地域衛星通信ネットワークを構築・運用しており、現在では県庁に第2世代の地域衛星通信ネットワークを、県庁と、これ以外の施設に民間衛星のネットワークを整備しているが、両者ともに運用終了期限が迫っているという課題がある。

その運用効果に鑑みれば、引

き続き衛星系通信装置の必要性は高いと思う。

本市の地域衛星通信ネットワークの第3世代システム化について市長の所見を伺う。

答 香川県が、各市町との一体整備など地域衛星通信ネットワーク第3世代システムの活用も含め、検討を進めると伺っている。本市としても、その状況を注視し、県や各市町で連携を図りながら、災害時の通信体制の確保に万全を期していきたいと考えている。



空き家対策を

年度末までに、より実態に即した

改訂作業を進めていく



大田 稔子

問 本市は、空き家が増加し周辺環境に悪影響を及ぼすケースが急増している。今後、空き家を放置しないこと、空き家化の抑制と予防が肝要と考える。東かがわ市空き家対策計画」の進捗と課題、利活用ができる空き家件数は。

答 空き家件数は、1,734件、空き家率は、11・6%となり、約5年間で4・5%増加し、空き家対策の課題は深刻さを増している。と改めて認識している。年度末までにより実態に即した計画になるよう改訂作業を進めていく。利活用可能物件は、1,587件、91・5%である。これらの物件をどれだけ利活用できるかが重要である。この観点で踏まえた計画となるよう見直

しを進めていく。所有者等に、啓発等、適正な管理をお願いし、不存在とならないよう未然に防止する取組みを進める。

問 今年度は、若者定住化促進事業の中古物件購入が増加している。中古物件助成の拡充を考へては。マッチングする専門のコーディネーターを常設しては。

答 検討していく。

若者定住支援について

問 これまでに、様々な若者定住支援施策を提案してきた。検討、検証の進捗状況や課題、来年度の方向性は。

答 本市の産業を担う就業支援が大きな柱になると考える。来年度において、就業し本市に居住する若者を対象とする就労の奨励、奨学金の返還の支援などについて、包括的に支援できるような対策に取り組んでいく。パッケージ等、発信にも力をいれ予算措置も含めた対応を考えたい。

国道11号引田地区での

右折レーン整備について

交差点局部改良を要望していく



渡邊 堅次

問 足谷交差点と大川橋西詰交差点には、右折レーンが無く渋滞を招いている。現在引田地区の国道11号の道路拡張事業等の整備計画については、国に要望しているところではあるが、国道11号大内白鳥バイパスが全線開通する迄には、間に合わないと感じている。渋滞緩和につながるためにも足谷交差点、大川橋西詰交差点を先行して右折レーンの整備を国に対して声をあげるべきと考えるが。

答 大川橋西詰交差点には、右折車線は無く、特に足谷交差点においては、JRの踏切と近接していることから遮断機の閉鎖時には、右折車両により国道本線の円滑な通行に支障をきたしているのも事実である。この状況

を踏まえ、国土交通省四国地方整備局香川河川国道事務所に対して局部改良の検討について要望する。

問 RVパーク施設整備について

問 近年キャンピングカーの人氣が高まり、日本RVパーク協会の統計では10年間で売上高は2・7倍に拡大している。三豊市では、県内では初めて自治体による、電源設備を備えた車中泊専用の有料宿泊エリアRVパークを市内3カ所に開設した。キャンピングカーの人氣の高まりに対応し、快適に安心して車中泊が楽しめる場所を提供する

とともに、災害時の有効利用も視野にいれて整備している。本市においても早急にRVパークを整備し、本市の観光スポットなどをゆつくり周っていたることが地域活性化にもつながると考えるが。

答 今後指定管理者とともにRVパーク設置、運営について検討していく。

防災会議に女性委員の登用を

次回開催の防災会議までに任命する



久米 潤子

問 自治体の防災会議で女性委員の比率が高いほど、女性や子ども、高齢者や障がいのある方など、災害弱者の視点に立った対策が実行されている。東日本大震災の教訓から、国は委員に占める女性の割合を2025年に30%を目指すとしている。

答 東かがわ市防災会議には、女性委員は、一人もいない。早期に女性委員を登用してはどうか。
答 次回開催の防災会議までに女性委員を任命する。

問 避難所で女性が抱えた困難の声や、男性と女性では災害時の支援ニーズ（要望）が異なることが明らかとなった。

被災した市民の皆様を、避難所で支援する本市の職員が女性の視点を学べる研修を期待した

い。そこで国が作成した「災害対応力を強化する女性の視点」の実践学習プログラムを活用した、職員研修を実施してはどうか。
答 令和4年度から全職員を対象に実施する。



問 SDGsの取組みについて

答 SDGsは2030年までに達成すべき17の国際社会共通目標である。本市の業務とも深く関係しているが、日頃から意識していないと薄れていく。人の情報収集は、視覚から得る情報が一番大きい。庁舎内の取組みとともに、市民の皆様への理解、啓発を目的に、市職員がSDGsロゴマークバッジを着用する考えを伺う。
答 企業や市民の皆様に知ってもらうことが目的なので、より効果的な普及、啓発を検討する。



地域猫活動の予算化を

新年度予算に地域猫活動に対する

補助金を計上する予定



山口 大輔

問 本市では野良猫の糞尿被害や数の増加による地域からの苦情の増加、無責任な餌やりによる住民トラブルに発展するケースもある。地域猫活動に対しても予算化し、事業として取り組むべきでは。

答 野良猫に起因する問題解決策の一つの足掛かりになると考へることから、県の事業を活用し、新年度予算に補助金を計上して支援に取り組む予定である。
問 ふるさと納税の1つに殺処分や支援費を定めた取組みを導入してはどうか。

答 使い道情報に動物愛護の記載があるが、今後内容を分かりやすく明記し、理解いただけるよう改善していく。

子ども・若者まちづくり事業の実現に向けて

問 先日市内の大学生を中心に海賊船プロジェクトが企画され実施された。



海賊船プロジェクト

メディアで取り上げられたり、市内外から観覧があるなど新しい可能性を生み出したと思う。このように子どもや学生、若者たちによる夢のアイデアを応援する事業を実施してはどうか。

答 子どもたちを含め、市民の声を集め、活動の賛同者を募り、計画策定をサポートし実施に至るまでを支援する仕組みを本市の特性を考慮しながら検討していく。

問 企画実現に向け教育現場でのプレゼンテーションの本格的な学習の機会を作っては。

答 深い学びにつながるよう、あらゆる教育活動を通してプレゼンテーション能力の向上を一層図っていく。

市内キャンプ場の

整備再編構想について

体験型観光の素材として活用を図っていく



田中 久司

問 環境への配慮のバランスを見直す動きが世界的に広まり、人々の自然志向への高まりを背景に、アウトドアレジャーとしてのキャンプが今、ブームとなっている。実際に、市内の多くのキャンプ場施設がこの昨今のコロナ禍の状況にもかかわらず、県内外からの大勢のキャンパーで賑わっている。

例えば、閉鎖の方向で見直しが進んでいる白鳥温泉を、宿泊機能を持たない最小規模の簡易な施設として残し、花と緑の山の中の温泉付きキャンプ場としてリノベーションをすれば、良質なお湯で、歴史ある白鳥温泉の灯を残すことにもなる。キャンプ場施設の整備再編は、「東かがわ市キャンプ村」構想とし

て、将来の市内観光施設の関係人口増や滞在日数の増に繋がるのではないかと。現存する観光資源の効率的な利活用の意味で、さらにポストコロナを踏まえた現在のアウトドア志向の時流に乗った施策という意味でも、今後検討を続けていくべきと考えるが。

答 大池キャンプ場をはじめ多くの施設では、大勢のアウトドア志向のお客様にご利用いただき、滞在型の観光資源として賑わっており、今後は体験型観光の素材としても活用を図りたい。「東かがわ市キャンプ村構想」は現在でもその潜在的な要素は十分あり、滞在型観光施設として活用していきたい。白鳥温泉については、当面は現状の施設状態により、令和5年度からの次期指定管理者募集を進めていく。

タクシーを利用した移動困難者に対する

支援策の実現可能性の検討について

検討を進めていきたいと考えている



宮脇美智子

問 高齢者で車の免許を返納し、車に乗せてもらえる家族も近くにいないというような本当に移動手段に困っている人にドアトゥドアで利用できるタクシー運行について検討してみても考えらる。タクシー利用をする際の負担を1回につき上限を設けてそれを超えた部分を市が負担する仕組みが必要ではないか。1回乗車当たりの利用者の負担金額設定、何人の利用が可能か、月何回の利用が出来るか等具体的に検討すべきと考えるが市長の所見を伺う。

答 タクシーの需給バランスや財政負担も含めたシミュレーションを行い、市民にとってより良い移動手段の確保につながるよう取り組んでいく。

「中国北京市海淀外国語実験学校」との交流及びそれに関係する本市の安全保障問題について

問 当校との交流を白紙に戻して中止とし、市民にも公表することについて伺う。

答 同僚議員に答弁したとおりである。

問 「交流は中止します」とのご回答をいただいた。12月3日発行、佐々木類氏の「チャイニーズ・ジャパン」という書籍に本市について書かれており、「すでに広範囲にわたり外国資本に買収されているという話も聞く」とある。

今後は行政とではなく民間との間での懸念材料が残る。安全保障上の観点で今後本市を守り抜いていっていただくための市長の決意を伺う。

答 本件に関わらず市民の安全安心に繋がることについては今後も真摯に対応していきたいと考えている。

平和・憲法・給食無料化・環境、

市長の政治姿勢を問う

給食費は一律無料化はしない、国に関する答弁は差し控える



東本 政行

助かるが、学校給食費無料化の方がもっと良い」との声を聞く。市長公約の一環として、給食費無料化を決断してはどうか。

問 日本は、世界で唯一の戦争被爆国政府でありながら「核兵器禁止条約」への参加に背をむけている。今年3月の東かがわ市議会で「日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書」を採択した。市長は、この市議会採択を尊重し「核兵器禁止条約」に参加するよう、国に声を上げてはどうか。

岸田首相は、「憲法改定におけ、精力的に取り組む」と述べた。狙いは、憲法9条に自衛隊を書き込み、自衛隊を海外で戦争出来るようにするためだ。許せないと思うが市長の見解はどうか。

市長は、先の市長選挙で「子育て支援の充実」を公約にした。市民から「子育て支援金支給は

(国連気候変動枠組条約第26回締約国会議)で、石炭火力新設中止、二酸化炭素排出削減措置をとらない、石炭火力の段階的廃止を明記した「廃止宣言」に

日本政府は賛同しなかった。その結果、2年連続日本は不名誉な「化石賞」を受賞した。市長の見解はどうか。

答 国の政策に関わる部分の見解は差し控える。

給食費無料化については、一律ではなく、要保護及び必要保護児童生徒等を対象にして、就学援助費支給要綱に基づき、引き続き支援策を講じていく。

問 国に関することでも、市民に大きな影響がある。答えるべきだ。給食費無料化実施は、大きな意義があるのでないか。

答 先に答えたとおりである。

新温水プールの管理運営について

総合的に判断しDBO方式にする



大藪 雅史

員会から出ている金額は運営委託料が年1億2千万円となっている。現状から1億円余計にかかることから管理運営は別にすべきと考えるが。

問 DBO方式(設計、建設、管理運営の一括丸ごと発注)ということで31億円の計上があったが、内18億円ほどが管理運営費になっている。引田温水プールに於けるコロナ禍以前の決算を見てみると光熱水費で950万円程度、使用料収入額は2千万円程度となっている。あとは人件費と定期的なメンテナンスということになるが、市または市の外郭団体で管理運営をした場合本市における非正規の職員の年収は220万円〜最大350万円であり、プール事業に10人配置しても3千万円くらいのものである。新設のプールであれば10年ほどは修理費というものはほぼ発生せず定期点検費くらいのもので考えるが、教育委

答 引田温水プールにはない、新規施設の管理等に必要費用、建築物のライフサイクルコストに基づく予防を含めた修繕費や他の温水プールなどの事例を基に算出している。新温水プールにおけるDBO方式での契約は、それぞれの内容を踏まえ総合的に判断したものである。

義務教育の完全な無償化について

問 何度も提言している給食費等の無償化であるが、ふるさと納税の収入で行っている自治体が増えている。本市においては今年も9億円を上回るように県内トップクラスであるがそれを利用して制度化しないのか。

答 給食費の無償化等の一律の支援はしない。

令和3年東かがわ市議会 第6回(11月)臨時会 議員の賛否表

| 議案名 | 議員名 | 議決月日 | 議決結果 | 賛成 | 反対 | 小松 | 堤 | 朝川 | 工藤 | 田中 | 宮脇 | 久米 | 工藤 | 渡邊 | 東本 | 山口 | 木村 | 大田 | 田中 | 中川 | 橋本 | 大藪 |
|-------|--|-------|------|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | | 千樹 | 弘行 | 弘規 | 潔香 | 久司 | 美智子 | 潤子 | 正和 | 堅次 | 政行 | 大輔 | 稔子 | 貞男 | 利雄 | 守 | 雅史 | |
| 議案第1号 | 東かがわ市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 11/30 | 可決 | 17 | 0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第2号 | 東かがわ市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 11/30 | 可決 | 17 | 0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第3号 | 東かがわ市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 11/30 | 可決 | 14 | 3 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● |
| 議案第4号 | 令和3年度東かがわ市一般会計補正予算(第5号)について | 11/30 | 可決 | 17 | 0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

令和3年東かがわ市議会 第7回(12月)定例会 議員の賛否表

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--|-------|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 認定第1号 | 令和2年度東かがわ市一般会計歳入歳出決算の認定について | 12/1 | 認定 | 16 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 認定第2号 | 令和2年度東かがわ市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 12/1 | 認定 | 16 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 認定第3号 | 令和2年度東かがわ市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 12/1 | 認定 | 16 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 認定第4号 | 令和2年度東かがわ市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 12/1 | 認定 | 17 | 0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 認定第5号 | 令和2年度東かがわ市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 12/1 | 認定 | 16 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 認定第6号 | 令和2年度東かがわ市下水道事業会計決算の認定について | 12/1 | 認定 | 17 | 0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第1号 | 東かがわ市地方創生応援基金条例の制定について | 12/1 | 可決 | 17 | 0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第2号 | 東かがわ市産業振興及び企業立地促進に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 12/1 | 可決 | 17 | 0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第3号 | 東かがわ市工業等の資本投下促進条例を廃止する条例の制定について | 12/1 | 可決 | 17 | 0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第4号 | 東かがわ市税条例の一部を改正する条例の制定について | 12/1 | 可決 | 16 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第5号 | 東かがわ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について | 12/1 | 可決 | 17 | 0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第6号 | 東かがわ市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について | 12/1 | 可決 | 17 | 0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第7号 | 東かがわ市引田漁村センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 12/1 | 可決 | 17 | 0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第8号 | 東かがわ市農業集落排水処理施設条例及び東かがわ市下水道条例の一部を改正する条例の制定について | 12/1 | 可決 | 17 | 0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第9号 | 東かがわ市交流プラザ条例の一部を改正する条例の制定について | 12/1 | 可決 | 17 | 0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第10号 | 東かがわ市立幼稚園の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について | 12/1 | 可決 | 16 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第11号 | 令和3年度東かがわ市一般会計補正予算(第6号)について | 12/1 | 可決 | 16 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第12号 | 令和3年度東かがわ市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について | 12/1 | 可決 | 17 | 0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第13号 | 東かがわ市農業委員会の委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とすることについて | 12/1 | 同意 | 17 | 0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第14号～議案第30号 | 東かがわ市農業委員会の委員の任命について | 12/1 | 同意 | 17 | 0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第31号 | 令和3年度東かがわ市一般会計補正予算(第7号)について | 12/20 | 可決 | 17 | 0 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※ ○は賛成 ●は反対した議員です。
 ※ 議長(井上 弘志)は可否同数の場合のみ表決権があります。

議会報告会 & 意見交換会

皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時

令和4年2月11日(金・祝日)
13:30～15:00

開催場所

交流プラザ2階 多目的ホール

各委員会からの報告、議員定数などの報告をします！
市民のみなさんの声を聞かせてください。

※新型コロナウイルス感染拡大により中止させて頂く場合もあります。

議員研修・勉強会

○10月18日に本市の予算・決算を基に『地方財政』について、市財務課職員による研修・勉強会を実施しました。

初めに、地方財政制度におけるこれまでの国の動きや地方交付税の仕組みと地方財政計画の説明を受け地方財政の仕組みを再認識することができました。

また、地方債については、本市の現状と今後の課題について示されました。引き続き新規事業に伴う予算や事業の決算審査をとおして将来の財政運営を見据え審査に努めていきます。

○10月27日に『SDGs取組みを通じた地方創生の実現』について、本市と包括連携に関する協定を結んでいる三井住友海上火災保険株式会社による議員研修会を実施しました。

SDGsの基礎を理解することで、持続可能な社会を実現するための具体的な取組みについて認識をすることができました。SDGsの目指す『誰ひとり取り残さない』グローバル社会に向けた取組みができるよう役割を果たしていきます。

編集後記

謹んで

初春のお慶びを

申し上げます

新しい年も市民の皆さまに寄り添い、安心の暮らしを支える未来社会の構築を担えますよう、懸命に努力してまいります。

2月が近づくと、東京での受験を終え一人乗車した新幹線で隣に座った日本を代表する経営者を思い出します。その時の対話が今も仕事への情熱になっています。そして、義務教育における教科書無償配布を実現した元女性参議院議員との出会いが、私の政治の原点です。

今夏は、参議院議員選挙があります。若者の皆さまにも政治を身近に感じて頂ける紙面づくりへ、飛躍の一年としてまいります。

どうぞ宜しくお願い致します。

久米 潤子

